

Kowa
SET CAMERA
KOWA LENS
F1.8 50mm

Kowa Company, Ltd.

Kowa
SET

お買上げいただき
ありがとうございます——

このたびは、コーワSETをお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。

コーワSETは品質・性能ともにすぐれた最高のファミリーカメラです。本機の数々の機能は、これから写真をお始めになる方にもまた、すでに写真に詳しい方にも、きっとご満足いただけることと思います。

使用に先だち、取扱説明書をご研究になって特長をよくつかみ、適切な取扱いと手入れをなさいますと十分にご活用ください。

本機があなたのご愛機として、生活をより豊かに楽しいものとするために役立つよう、念願しております。



**TTL開放測光式連動露光計内蔵！
つねに明るい一眼レフファインダー**

生かしたい3つの特長



☆一眼レフファ
インダーの魅力



☆TTL開放測
光露光計連動



☆小型軽量、す
ぐれた速写能力

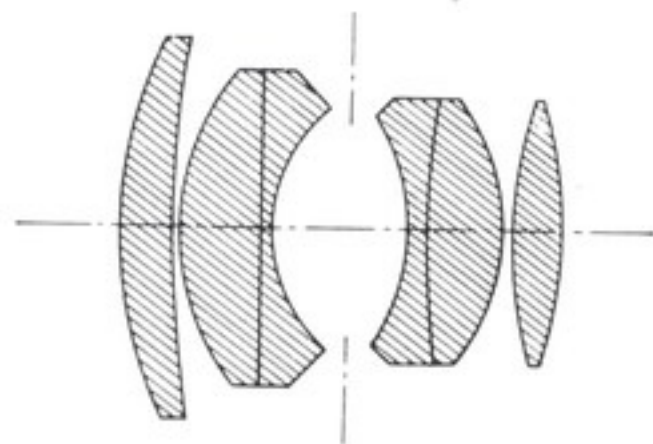


■各部の名称

- ①吊皮用リング穴
- ②フィルムカウンター窓
- ③フィルム巻上げレバー
- ④シャッターボタン、レリーズ穴
- ⑤アクセサリシュー取付け溝
- ⑥フィルム巻戻し用クランク
- ⑦50ミリF1.8標準レンズ
- ⑧シンクロ・ターミナル



レ ン ズ：コーワ50ミリ F 1.8 4群6枚構成 完全自動絞りつき 最短
撮影距離70センチ コンバージョンレンズ、接写レンズ使用可能
シャッター：セイコーシャSLV B・1~ $\frac{1}{500}$ 秒 セルフタイマーつき MX
シンクロ接点切換式
露 光 計：TTL式（接眼部の内側にCdSメーター2個内蔵）開放測光式
指針合わせはファインダー内 定点式完全連動 CdSメーターはフ
ィルム巻上げと同時にスイッチイン 撮影後自動的にオフ 露光計連
動範囲EV 3~17（ASA 100フィルム使用時）フィルム感度の
指示範囲はASA 10~800





①シャッター速度調節リング

②絞調節リング

③焦点調節用リング

④ASA感度目盛窓

⑤ASA目盛変更つまみ

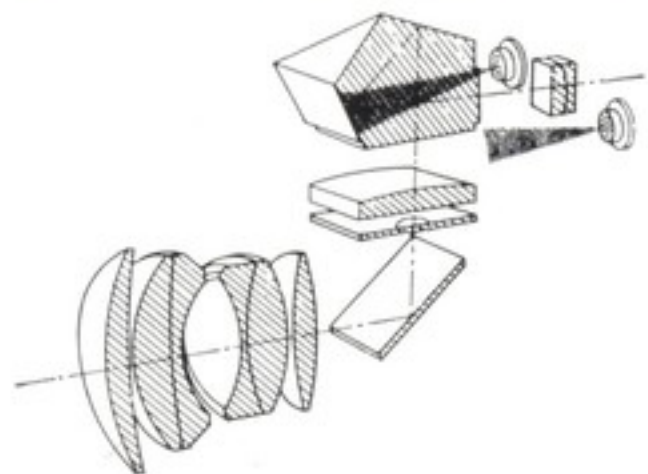
⑥MX接点、セルフ切換えレバー

⑦裏蓋開閉用止め金

⑧露光計用水銀電池収納部

⑨三脚穴

⑩フィルム巻戻し切換えボタン



ファインダー：固定ペンタプリズム式一眼レフ コンデンサーとフレネルレンズ併用

焦点調節：直進ヘリコイド マイクロダイヤプリズム式

フィルム機構：EL（簡易装填）式 一操作180度回転レバー巻上げ 余備角15度
フィルムカウンター自動復元 クランク式巻戻し（巻戻しボタンはワンプッシュ式）二重露出防止

カメラサイズ・重量：136×96×83ミリ 780グラム

その他：クイックリターンミラー 接眼部にアクセサリシュー取付用溝付き アクセサリー群豊富



1



2



3

■ 撮影操作の手順

ASA感度のセット

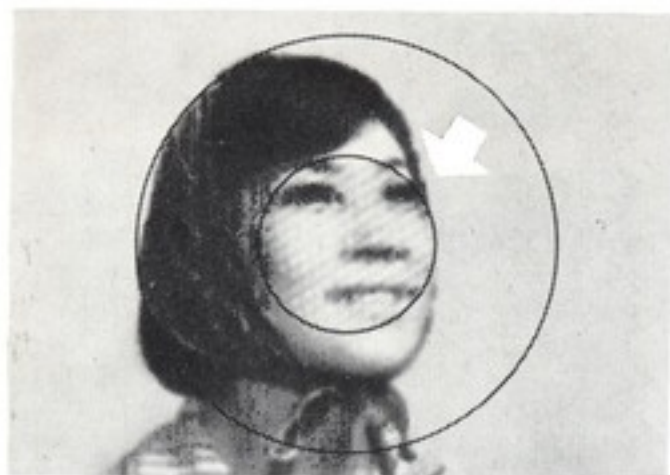
水銀電池を入れたら（17ページをご覧ください）、裏ぶたをあけてフィルムを入れます（8ページ）。使用フィルムの感度をASA感度目盛窓にセットします。（10ページ）

シャッター速度をきめる

シャッター速度調節リングを回してセットします。シャッター速度はフィルムの感度と被写体の明るさとの関係できまりますが、ASA 100のときは室内では30、屋外では125と一応きめておくのが便利です。（10、12、13ページ）

露光は指針合わせで

ファインダーで被写体をとらえ、絞り調節リングを回して指針を山形の指標の中央凹みに合わせます。露光計のスイッチは巻上レバーと連動していて、巻上げるとスイッチが入って露光計が働きます。



4



5

ピントを合わせて

ファインダーをのぞきながら焦点調節用リングを回し、被写体の像が中央のマイクロダイヤプリズム部(円型)で鮮明になるよう調節します。又周囲のボケを鮮明にしても、どちらでも結構です。

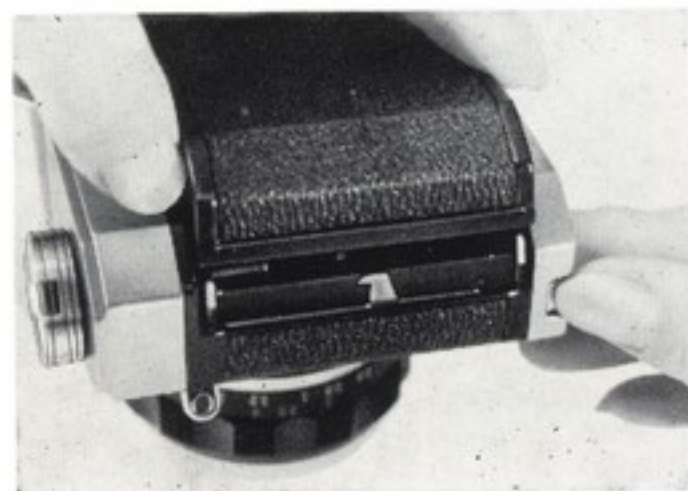
(14ページ)

そこで撮影です

ファインダーをのぞきながら構図をきめ、シャッターチャンスねらってシャッターボタンを押します。一眼レフファインダーですから見たま、がフィルムに写ります。

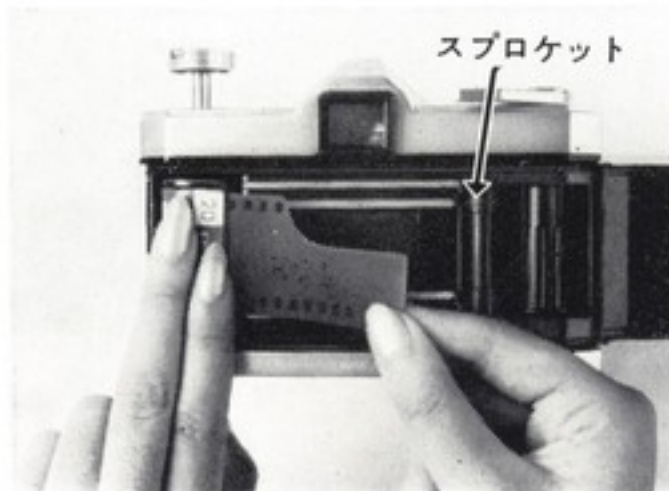
撮影操作はこんなに簡単ですが、あなたのコーワSETを最大に活用するため、以下に頁を追ってさらにくわしくご説明いたしましょう。

■ フィルムを入れるには



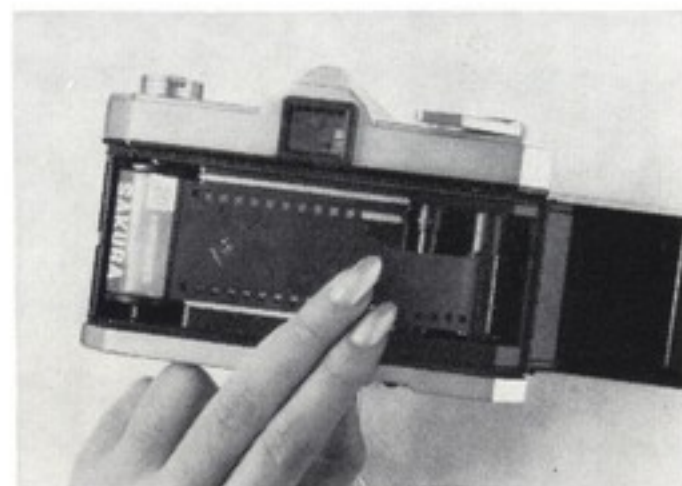
1 裏ぶたを開く

止め金を引くと裏ぶたは自動的に開きます。このときフィルムカウンターは自動的に戻ってカウンター窓にスタートマーク ㊟ がでます。



2 フィルムを入れる

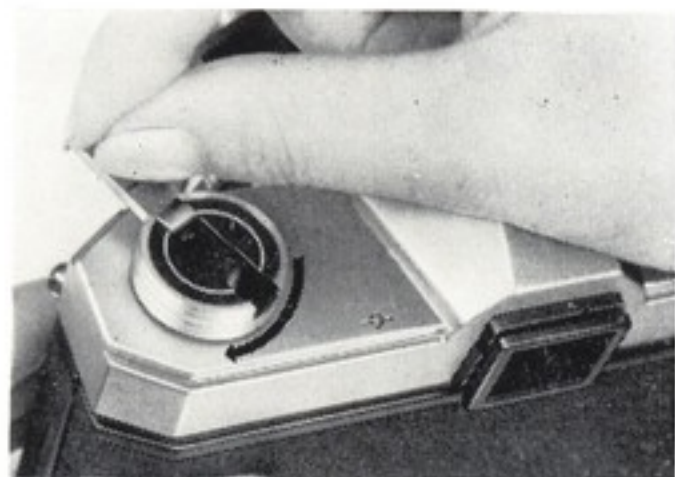
巻戻し用クランクのつまみを引き上げ、フィルムを入れます。パトローネを押えフィルムを1枚ぶん引き出します。つまみを押しさげて元に戻すとパトローネは安定します。



3 先端を巻取軸に差込む

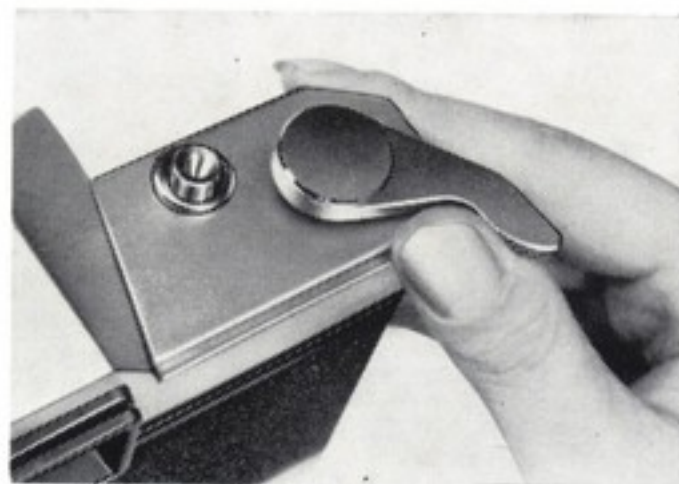
フィルムの先を3～4穴ぶん巻取り軸の溝に差こみ、フィルムを軽く押えながら巻上げレバーをゆっくり廻してフィルムを巻取ります。フィルムの上下の穴がスプロケットの歯とかみ合うまで巻取ってください。

- ※フィルムは35ミリ判、パトローネ入りのものをお使いください。
※撮影済フィルムが巻戻されていることを確認してから裏ぶたをあけましょう。
※入れ換えはなるべく直射日光をさけて比較的暗い場所で行ってください。



4 裏ぶたを閉めます

裏ぶたを閉め、軽く押えると止め金がかかります。巻戻しクランクを静かに矢印の方向に回してフィルムのゆるみをとってください。



5 2枚分空送りする

露光された部分を送るため、巻上げレバーを止るまで回してシャッターボタンを押し、さらに1度くり返して2枚ぶん空送りします。巻戻しクランクが回っていればフィルムは確実に送られています。



6 カウンター窓に1が出る

撮影に際して、巻上げレバーを巻上げると窓には1が出ます。フィルムカウンターは以後巻上げごとに自動的に進みます。

■ T T L 開放測光連動露光計の使い方



コーワ S E T の露光計はレンズの中を通った光を測光しています。また、画面の平均の明るさを測るよう設計されています。レンズの絞りは開放のまま、絞りこんだ状態を測る方式をとっていますから、ファインダーの明るさはいつも変わらず、最大の明るさで被写体を見ていられます。

① A S A 感度を目盛をセットする

A S A 目盛変更つまみを引張りながら回して、フィルムの A S A 感度の数値を窓に出しそこでつまみを放すと、クリック止めがきいて A S A 感度がセットされます。(数字と数字の間の赤点は中間値を示し、ここでもセットすることができます。特殊フィルム、外国製フィルムするとき主として用います。)



② シャッター速度をセットする

シャッター速度調節リングを回して適当なシャッター速度にセットします。数字の中央位置でクリック止めがきくようになっていますから、その位置に正しくセットしてください。**中間点ではスピードが正確にできません。**

注意 B と 1, 8 と 15, 125 と 250 の中間点はスピードの切換点になっているため、故障の原因になります。使用してはいけません。

シャッタースピードのセットは、フィルムの巻上げの前後いづれで行ってもかまいません。シャッター速度のきめ方については12~13ページをご覧ください。

③ファインダー内で指針合わせをする

絞りリングを回しながら、ファインダー内の指針を右側の指標中央の凹みに合わせると適正露光が得られます。

指針が指標までこない次のようなときは

指針が上側で行き足りない

シャッター速度が速すぎる。

指針が下側で戻り足らない

シャッター速度が遅すぎる。

場合ですから、一旦決めたシャッター速度を

もう一段速くする（数字の大きい方へ）か

もう一段遅くする（数字の小さい方へ）

かして合わせてください。



注意 ※必要なASA目盛がでてこないときは、絞り調節リングを少し回して位置を変えてから、もう一度セットしなおしてください。

※絞りを先にきめ、シャッター速度調節リングを回しながら指針合わせをすることによって、適正露光を得ることもできます。

この際、中間速度になることがしばしばありますが、近接の高低いづれかの速度にきっちりセットします。指針合わせを厳密にしたいときは、残部の微調節は絞りリングをわずかに回して行います。

※露光計のスイッチは連動スイッチになっています。フィルムを巻上げると電流が通じて露光計が働き、シャッターを切ると同時に切れます。

■シャッター速度の上手な決め方

カメラブレを防ぐには、なるべく高速のシャッター速度を選ぶことです。
下の表はASA 100フィルムを用いるときのシャッター速度の範囲です。

ASA 100 フィルム 使用の 場合				500 250 125 60
				250 125 60 30
				60 30 15 8

30 (1/30秒) より遅いシャッター速度を用いるときはカメラブレを生じやすいので、三脚を用いるなど、カメラを静止させることに意を用いてください。

上の図表で、例えばASA 50フィルム使用のときは、矢印の範囲を遅い方（右の方）に1段、ASA 200フィルムの場合は速い方（左の方）に1段移してください。

シャッター速度を上手に選ぶと動きを効果的にみせます。

遅いシャッター速度は走る物体を流れる像として写しますから、動感を表現することができます。

絞りの大小はピントの合う範囲に影響を与えます。

一般にレンズは、絞るほど前後のはっきり写る範囲が広がります。範囲のおよそは、鏡筒の上の目盛で知ることができます。

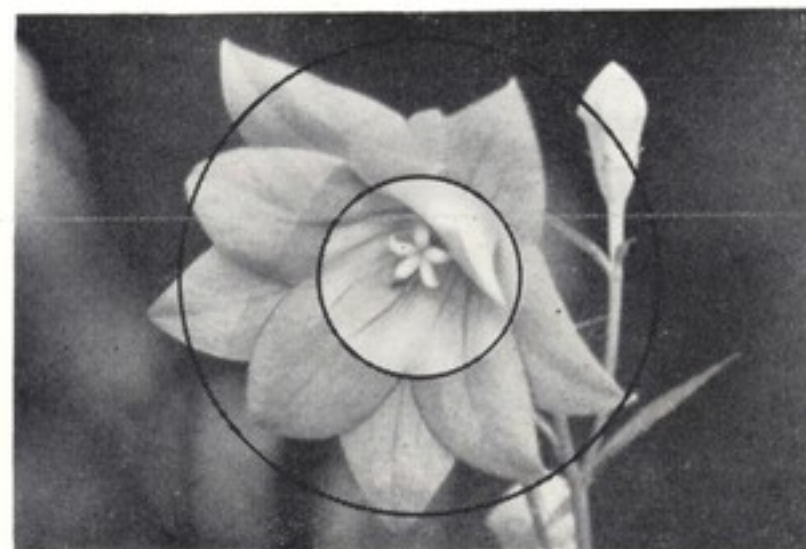
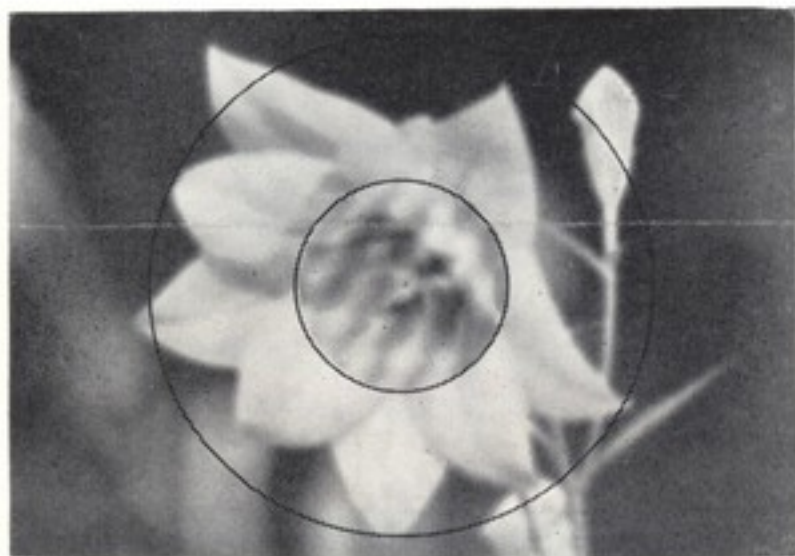
標準レンズと、望遠・広角コンバージョンを装着したときのこの範囲を、26・27ページにのせてありますからご研究ください。



上の図で2 mの被写体にピントを合わせたとき、F 8では1.6 mから2.5 mの範囲まで、F16では1.5 mから3 mの範囲までボケなくシャープに写ることを示しています。

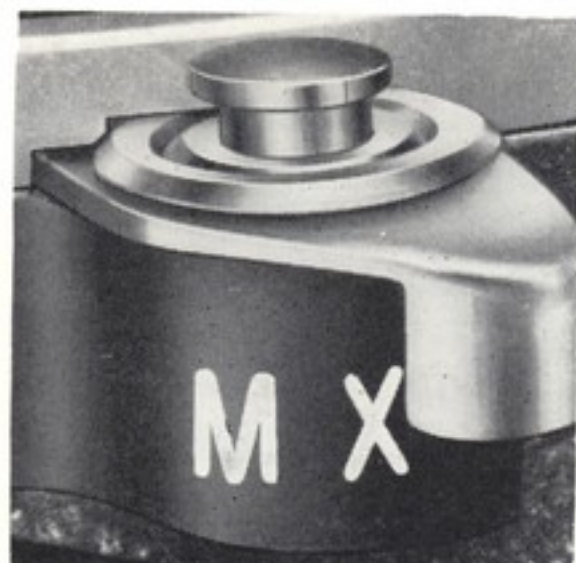
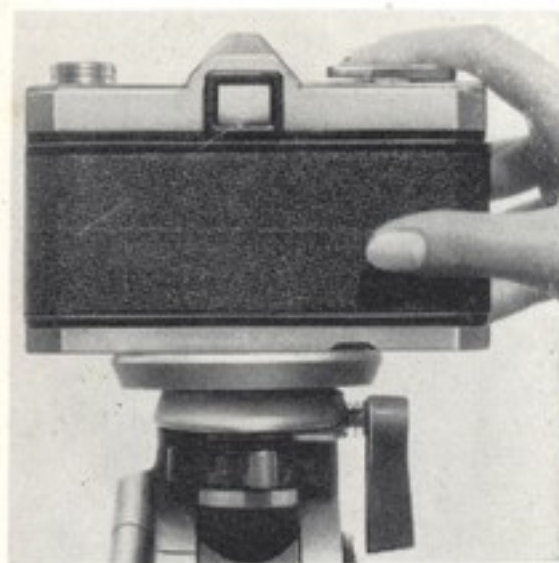


■ 焦点調節は



ファインダーをのぞきながらヘリコイド式焦点調節リングを回転すると、ファインダー中央のダイヤプリズム部の画像が鮮明になります。最も鮮明になったときがピントが合った状態です。ピント合わせの際に、焦点調節リングを余りにゆっくり回すと、目が迷わされて反ってわからなくなります。スーッと回して合った所でピッタリ止めるコツを会得してください。

■セルフタイマーの利用

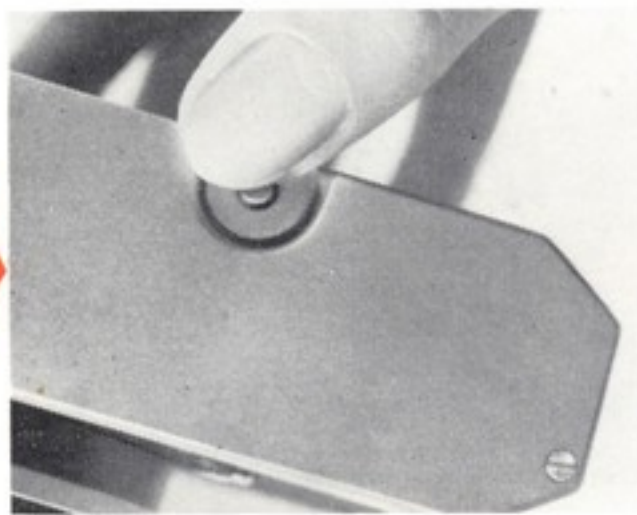
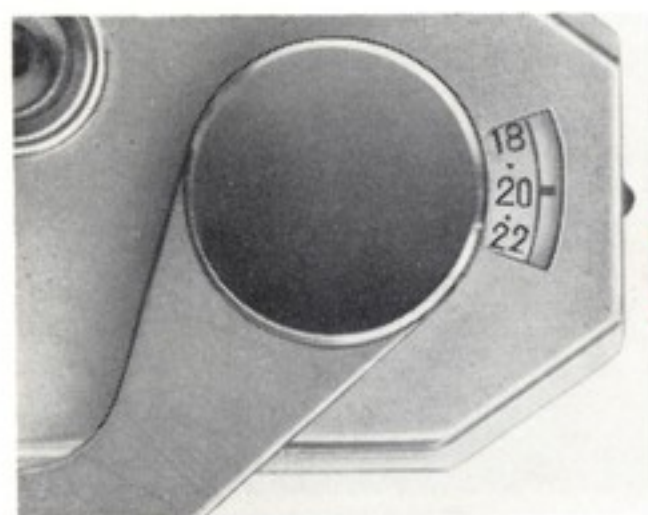


セルフタイマーはシンクロ接点切換えレバーと兼用です。レバーのロックボタンを押して目盛Vに切換え、シャッターを押すと始動します。なおセルフタイマーの作動時間は約10秒です。ロック止めがついているのはシンクロ接点切換え時に、不用意にセルフタイマーと切換わらないためです。使用済みの場合は切換えレバーをシンクロ接点目盛側に戻すと自動的にロック止めがかかります。いつもはX接点にしておきます。

■ フィルムをとり出すには

フィルムを全部写し終ると巻上げレバーはそれ以上巻けなくなり、撮り終りがわかります。そして次のフィルムと入れ換える前に、撮影済みフィルムを元のパトローネの中に巻戻さなければなりません。

注意 フィルムを全部をパトローネの中に巻きこんでしまうと光線引きの原因になります。撮影済みフィルムは先端を折っておくと新フィルムとの区別がつかます。



①カウンターで撮り終りを知る

フィルムカウンターが撮影予定枚数をつげたら、

②巻戻しボタンを押す

カメラ底部の巻戻しボタンを押すとフィルムは巻戻せる状態になります。

③クランクで静かに巻戻す

巻戻し用クランクを起して矢印方向に廻わし、フィルムをパトローネの中に巻戻します。

※巻戻しボタンは次にレバーを巻上げるとき自動的に戻ります。

注意 長期間（1ヶ月以上）カメラを使用しないときは、水銀電池をとり出し、乾燥した場所にしまっておいてください。



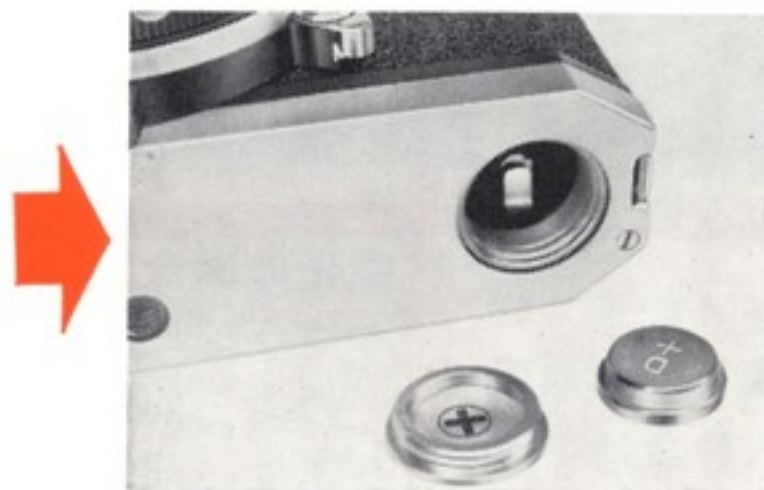
④撮影済フィルムをとり出す

巻戻しを確認してからカメラの裏ぶたを開き、巻戻し軸を引き上げてパトローネごと取り出します。

■電池の交換

電池を入れるには、電池の⊕側を（ネジ）ふたの⊕に合わせてねじこみます。

電池は1.3Vの水銀電池（JIS H-D規格品）ナショナルM1-D、東芝HS-D、ノーベル（富士電気化学）H-Dなどを用いてください。電池は、普通に使って1年くらいもちます。



注意 電池の寿命がくると、電圧が急に下って露光計の働きがにぶり、全く違った値を示しますから容易にわかります。疑わしいときは、くわしい方に相談されるか、新しい電池と取りかえてください。

■ 露光をきめにくいき——被写体による変化

コーワ S E T の露光計は、現在最新の T T L 露光計です。レンズを通過してフィルム面に達する光を測っていますから、測光は正確です。フィルターやコンバージョンレンズ、接写レンズを使用するときも、面倒な配慮はほとんど不要、ふつうのカメラ操作でできます。

しかし、この有能な T T L 露光計でも万能というわけにはいきません。右のような特殊な場合は、より良い写真をとるために説明書の示すように行ってください。



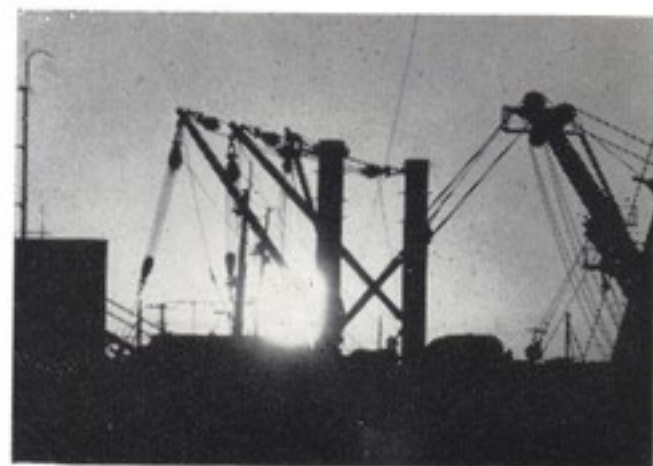
逆光の場合は

ふつうはバックが極端に明るいので、前景が露光不足になります。前景の影の部分測るか、より人物に近づいて前景本位に測ります。逆光のときはフードをつけて下さい。

ふつうに測った露光値に対して2~4倍露光増加(1~2段絞りを開くか、1~2段シャッター速度を落すか)しても結構です。

空を大きく含む風景の場合は

明るい天空部に影響されて露出が不足することがあります。このときはカメラをや、地上に向けて測ります。強い反射光があるときは、フードを用います。



強コントラストな場合

同一画面内に極端な明暗がある場合は、両方ともうまくとることは、普通は無理です。明・暗のいずれかに決めて、その部分本位に測光することをおす、めします。

屋外夜間の場合は

次の光源が画面に入るときと同じですが、暗いはずの夜が昼間のように明るくとれては困ります。このときは、ふつうに測って露光計の示すまゝに露出合わせを行ってください。

光源が画面に入るとき

輝く夕陽、天井の明り、明るい窓などが、薄暗い画面の一部に入る場合も露出が不足になります。極端に明るい部分が画面に入らないようにして指針合わせをしてください。

■ 望遠、広角撮影も可能

広角37ミリ



望遠・広角撮影のときは、コンバージョンレンズを用います。カメラ操作は普通と変わりません。ただし、コンバージョンレンズは明るさがF4ですから、ご使用のときは4～16の絞り範囲でお使ください。

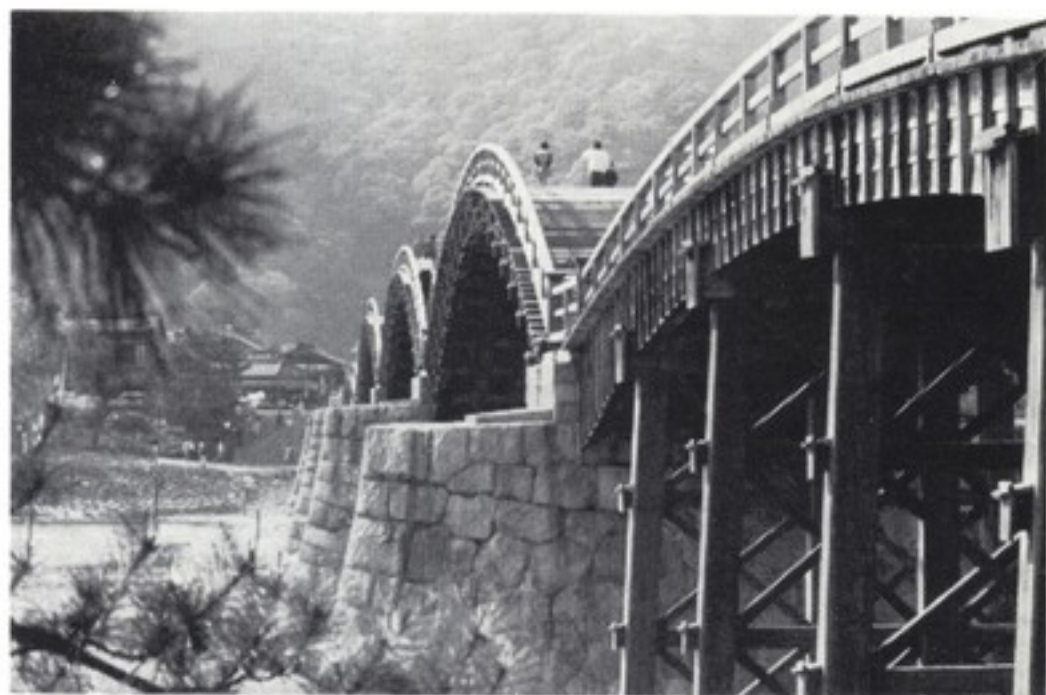
種別	明るさ	合成焦点距離	レンズ構成	写角	値段
望遠用	F4	85ミリ	4群6枚	28度	本体 ¥8,000 ケース ¥500
広角用	F4	37ミリ	2群4枚	60度	本体 ¥7,100 ケース ¥400



標準50ミリ



望遠85ミリ



■ 接写、複写、顕微鏡撮影も簡単

SETの最短撮影距離は70cmです。

接写撮影用に、アクセサリとして接写レンズ

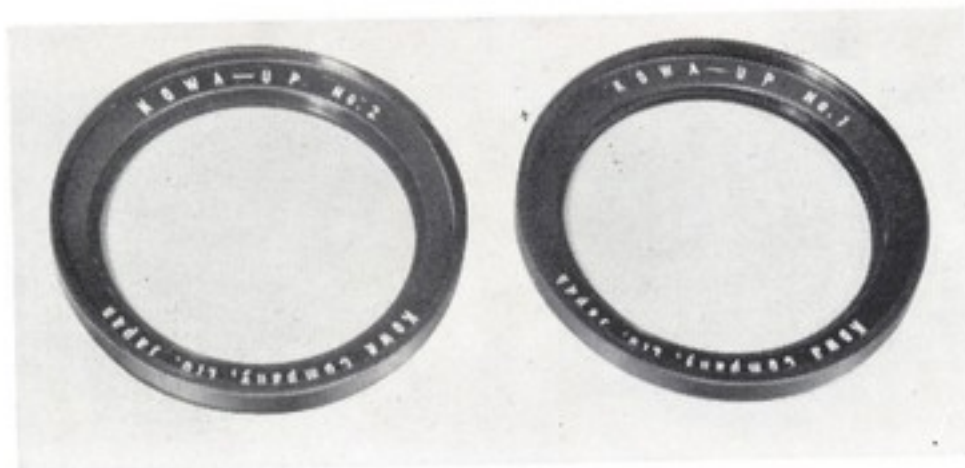
1号

撮影距離 46～100cm

2号

撮影距離 36～58cm

が用意されています。1号2号を重ねて使用すると30～41cmまで近づけます。接写レンズは、標準レンズの前にねじこんで装着使用します。一眼レフですから見たま、が写り、露出合わせピント合わせの操作もふつうのカメラ操作法と同じ、簡単に接写・複写が楽しめます。ピント合わせは、ていねいに正確に行ってください。顕微鏡撮影のときはアクセサリの顕微鏡アダプターを用品います。



接写レンズ1号

¥ 1,500

接写レンズ2号

¥ 1,500



顕微鏡用アダプター

¥ 2,500

■シンクロ撮影

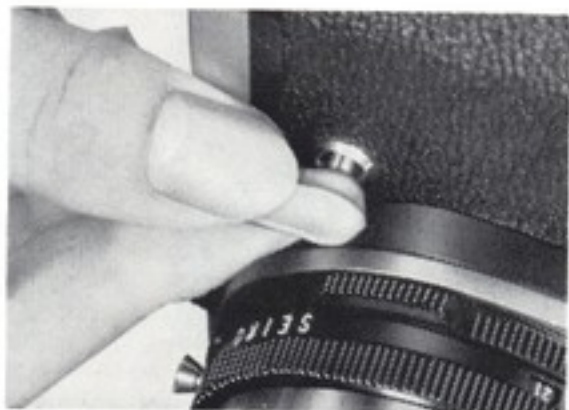
SETのシャッターはすべてのシャッター速度に同調（シンクロ）いたします。切換レバーは、M級フラッシュ電球のときはMに、ストロボ使用の際はXにセットします。セットのときはボタンを押しながらレバーを回してください。

フラッシュガンあるいはストロボをカメラに取付けるには、附属品のアクセサリシューを用います。

シンクロ露光のきめ方

フラッシュ・ストロボによる撮影のときは、露光計の指針合わせは致しません。フラッシュ電球（閃光電球）やストロボの外箱あるいは説明書に必ず示してあるガイドナンバーを手掛りに撮影距離によって絞りを、逆に、絞りを予めきめて撮るときは撮影距離を、右の式から求めてセットします。有害な反射光をカットするため、フードを使うこともあります。

接点をセットして



コードのプラグを差しこむ

接点 電球種別	M	X (V)
M級フラッシュ電球	全スピードに完全同調	1/50秒以下にのみに同調
ストロボ	不同調	全スピードに完全同調

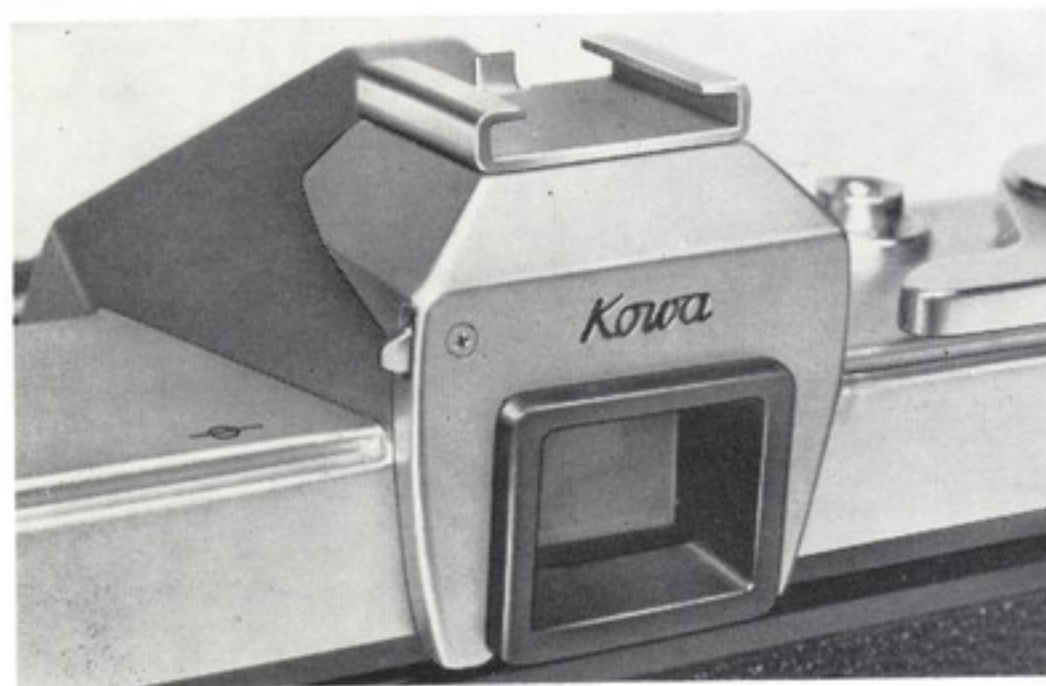
※セルフタイマー(V)は、シンクロ撮影のとき、X接点として働きます。

$$\frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{撮影(発光)距離}} = \text{適正露光の絞}$$

$$\frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{所要の絞り}} = \text{適正露光の撮影距離}$$

■ 豊富なアクセサリ一群

着脱式のアクセサリシュー



アクセサリシュー ¥ 300

ファインダー接眼部にアクセサリシュー用の溝があり、ここにさし込んで使います。外すときは、つまみを押しながら引き出します。

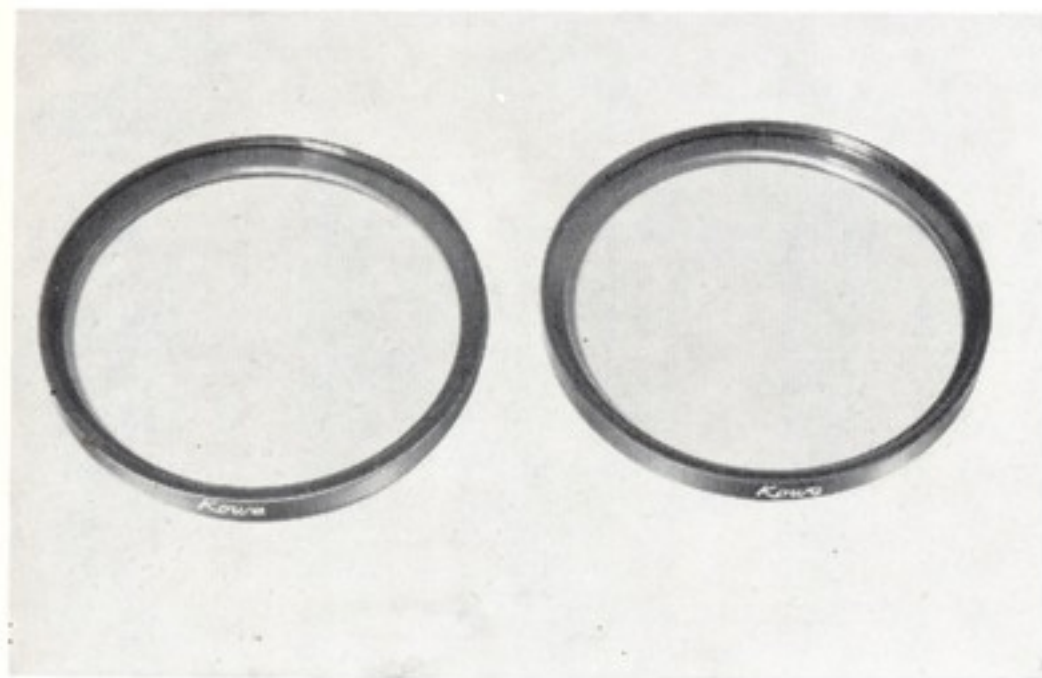
レンズフード



標準レンズ用フード ¥ 550(ケース付)
望遠レンズ用フード ¥ 1,200(ケース付)
広角レンズ用フード ¥ 1,100(ケース付)

乱入光線や有害な反射光をカットして美しい写真を保証します。海、山、雪景、逆光の撮影、フラッシュやストロボ撮影には常備したいアクセサリです。各レンズ用があります。

専用フィルター



フィルターY2, UV 各 ¥ 800

49ミリねじ込フィルターを用います。UV, Y2の2種の専用フィルターが用意されています。

- UV** 紫外線カット用。海岸、高山での撮影には欠かせません。カラー撮影の常用フィルターとして役立ちます。
- Y2** 黄色。黑白フィルム用。青空の調子を適度に落とし、風景を自然に写します。青空の白雲や日陰の調子を強めます。



■ 各レンズの被写界深度表

被写体にピントを合わせた場合、前後どれくらいの範囲がボケなくはっきり写るか、という範囲を被写界深度とい、ます。被写界深度はレンズの焦点距離によって異なり、撮影距離と絞りの値で決ります。

標準50ミリF1.8レンズ

絞り(F)	1.8	2	2.8	4	5.6	8	11	16
∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞
10	41.99	37.79	27.00	18.90	13.50	9.45	6.87	4.72
5	13.09	13.56	15.81	21.06	37.90	∞	∞	∞
3	8.09	7.93	7.32	6.57	5.78	4.90	4.11	3.25
2	5.66	5.75	6.11	6.76	7.87	10.45	17.75	∞
1.5	4.48	4.43	4.23	3.97	3.67	3.30	2.93	2.47
1.2	3.22	3.25	3.36	3.55	3.82	4.34	5.22	7.90
1.0	2.81	2.79	2.71	2.60	2.47	2.30	2.11	1.87
0.9	2.09	2.11	2.15	2.22	2.33	2.51	2.77	3.37
0.8	1.91	1.90	1.87	1.82	1.75	1.67	1.57	1.43
0.7	1.55	1.56	1.58	1.62	1.67	1.76	1.89	2.14
	1.45	1.45	1.43	1.40	1.36	1.31	1.25	1.16
	1.23	1.24	1.25	1.27	1.31	1.36	1.43	1.57
	1.17	1.17	1.15	1.13	1.11	1.08	1.04	0.97
	1.02	1.02	1.03	1.05	1.07	1.11	1.15	1.24
	0.98	0.98	0.97	0.95	0.94	0.91	0.88	0.84
	0.92	0.92	0.93	0.94	0.96	0.98	1.02	1.09
	0.88	0.88	0.87	0.86	0.85	0.83	0.81	0.77
	0.81	0.82	0.82	0.83	0.84	0.86	0.89	0.94
	0.79	0.79	0.78	0.77	0.76	0.74	0.73	0.70
	0.71	0.71	0.72	0.72	0.73	0.75	0.77	0.80
	0.69	0.69	0.68	0.68	0.67	0.66	0.64	0.62

広角・望遠コンバージョンを装着するときは、焦点調節リング（距離リング）の数値は、カメラ被写体までの実際の距離と異った値（みかけの距離）を示します。

下の表の距離欄で上の数字は、距離目盛の示す数値で、下の〔 〕内の数値はそのときの実際の距離です。

広角37ミリF4レンズ

望遠85ミリF4レンズ

絞り(F)	4	5.6	8	11	16
∞	∞	∞	∞	∞	∞
〔∞〕	10.71	7.65	5.35	3.89	2.68
10	12.16	22.19	∞	∞	∞
〔5.72〕	3.75	3.30	2.79	2.35	1.86
5	3.92	4.57	6.12	10.64	∞
〔2.89〕	2.29	2.11	1.90	1.68	1.42
3	2.08	2.25	2.56	3.10	4.80
〔1.75〕	1.51	1.44	1.34	1.23	1.08
2	1.32	1.39	1.50	1.66	2.04
〔1.18〕	1.07	1.03	0.98	0.92	0.84
1.5	0.98	1.01	1.07	1.15	1.31
〔0.90〕	0.84	0.81	0.78	0.74	0.69
1.2	0.78	0.80	0.83	0.88	0.97
〔0.73〕	0.69	0.67	0.65	0.63	0.59
1	0.65	0.66	0.69	0.72	0.78
〔0.62〕	0.59	0.58	0.56	0.54	0.51
0.9	0.59	0.60	0.62	0.64	0.69
〔0.56〕	0.54	0.53	0.51	0.50	0.48
0.8	0.53	0.53	0.55	0.57	0.60
〔0.50〕	0.48	0.48	0.47	0.45	0.43
0.7	0.46	0.47	0.48	0.50	0.52
〔0.45〕	0.43	0.43	0.42	0.41	0.39

絞り(F)	4	5.6	8	11	16
∞	∞	∞	∞	∞	∞
〔∞〕	54.95	39.25	27.47	19.98	13.74
10	60.98	109.45	∞	∞	∞
〔28.97〕	19.02	16.72	14.17	11.90	9.40
5	19.46	22.64	30.00	50.65	∞
〔14.41〕	11.45	10.58	9.50	8.43	7.10
3	10.14	10.94	12.39	14.88	22.38
〔8.59〕	7.45	7.07	6.58	6.05	5.34
2	6.30	6.60	7.10	7.84	9.50
〔5.67〕	5.16	4.98	4.73	4.45	4.06
1.5	4.55	4.70	4.95	5.29	5.99
〔4.22〕	3.93	3.82	3.68	3.51	3.26
1.2	3.55	3.64	3.78	3.98	4.35
〔3.34〕	3.16	3.09	3.00	2.89	2.72
1	2.90	2.95	3.05	3.17	3.40
〔2.76〕	2.63	2.59	2.52	2.44	2.32
0.9	2.58	2.62	2.69	2.79	2.97
〔2.47〕	2.37	2.33	2.28	2.21	2.12
0.8	2.26	2.29	2.35	2.42	2.55
〔2.18〕	2.10	2.07	2.03	1.98	1.90
0.7	1.94	1.97	2.01	2.06	2.15
〔1.88〕	1.83	1.81	1.77	1.74	1.68

Konica
SET CAMERA

興和株式会社

サービス・センター

東京：東京都中央区日本橋兜町2-38共同ビル 電話(668)0011 代表

(昭和44年以降は下記へ)
東京都中央区本町3-3)

大阪：大阪市東区淡路町2-2-2 電話(202)1341 代表

名古屋：名古屋市中区錦三丁目6-29 電話(971)9171 代表

福岡：福岡市店屋町4-1-5 電話(28)4366

札幌：札幌市南一条西7-1-5 電話(26)9101

仙台：仙台市東四番町5-0 清水ビル 電話(23)3783